

キャンパス・ハラスメント対策室長
黒田 彰三
(経済学部教授)

これまでの「セクシュアル・ハラスメント防止委員会」からこの4月1日より新たに「キャンパス・ハラスメント対策室」になりました。これまで大学内で生じているセクシュアル・ハラスメント問題が、今後防止だけでなくハラスメント問題が発生したときに適切に対応出来るように体制を整えたわけです。対策室の場所も新たに、より広くされました。専任のスタッフも2人常駐するようになりました。

相談受付窓口

専用電話・ファクス
☎ 044-900-7858

E-mail
camhara@acc.senshu-u.ac.jp

留守番電話・ファクス・メールでお受けしています。留守番電話の録音内容、ファクスの通信内容及び受信メールにアクセスできるのは対策室員だけです。

キャンパス・ハラスメント 対策室員

- 黒田 彰三(室長)
 ※以下50音順
【教員】 岩井 宜子 岡村 陽子
 荻原 幸子 佐々木 重人
 前川 亨 本江 渉
 桃尾 美佳 李 建平
【職員】 大久保敏江 北村まゆみ 優子
 齊藤 公男 品川 力
 鈴木 則行 中山 瑞子
 福田 竜也 古瀬
 ※キャンパス・ハラスメント対策室ホームページ
<http://www.senshu-u.ac.jp/campuslife/> (このページからアクセスできます)

キャンパス・ハラスメント対策室から ハラスメント防止のために

し、被害者と加害者の認識をしっかりと身につけて元の状態に戻すことが、社会に出て、専ら、更には元より、より、修大学のOB・OGから良い状態にすることを、ハラスメントの加害者を指して対策をすることを出さなければならぬ活動が、心掛けていきたいと思います。「キャンパス・ハラスメント対策室」は学内で生じたハラスメントの加害者に対する対策が主となるので、対策室の業務の中心で、対策室の業務の枠を超えても、学生諸君への広報も、幸いにも対策室の役割と考えても対策室の活動します。

東日本大震災は、就職活動中の学生にも多大な影響を与えた。被災した企業やその後の計画停電により、多くの企業が説明会や採用選考を延期した。今年就職活動は、例年以上にスケジュール管理やモチベーション維持が必要だ。

東日本大震災は 就活にも影響!

① 大手企業の選考再開に備えて、準備は着実に!
大手企業は採用選考開始を5月連休明けや6月から公表したが、すべての企業が延期したわけではない。中堅企業を中心に、既に選考を進めている企業も多い。大手企業に合わせた就活を停止させるのではなく、着実に行動することが必要だ。

② 学内イベントに参加しよう!
神田・生田両キャンパスに合わせた250社を招く「学内企業説明会」は、多くの企業と出合えるチャンス。毎年この説明会をきっかけとして多くの学生が内定を得ている。

③ 大学に来る求人を活用しよう!
昨年度にきた求人は、4000件以上。中堅企業を中心として優良企業が多いのが特徴だ。これらの求人は、就職支援システム「S-net」に随時掲載されている。その中でも、専大生をぜひ採用したいと直接大学まで足を運んできた企業については、「来客求人情報のお知らせ」として「S-net」の掲示板に毎週2回更新している。

④ 内定に関して悩んだときは就職課へ
今年の採用活動は中堅企業が大手企業より先に進む傾向があり、内定を出した学生を確実に確保したいと考えている。そのため、内定承諾書の提出を強く求めたり、入社を承諾してくれたら内定を出さず、学生の行動を拘束することが予想される。内定承諾書を安易に提出するなどの行動は、その後のトラブルに発展しかねない。不安なときは一人で悩まず、就職課に相談することが一番だ。

心身にダメージを受けた方へ

ショックな出来事に見舞われた際、心身に大きなダメージが表れます。そのダメージの大きさは、人それぞれです。大きなダメージによって不安になったり、過去の体験がよみがえったりすることがあります。「気持ちよく落ち着かない」「何となく調子が悪い」ということがあったら、相談してください。

学生相談室をご利用ください

また、自分や家族、知人が直接被害に遭っている。今は何もなくても何かあったら相談室へ、気軽に相談してください。

- 生田キャンパスの学生相談室は地震の影響で、現在仮設相談所に移転しています。
- 4号館1階、学生生活課の窓口に「学生相談室受付」があります。どうぞ声をかけてください。
- △生田学生相談室
 ☎(04)1278
 【月～金】9～17時
 【土】9～12時
 △神田学生相談室
 ☎(03)32656
 216
 【月～金】11～19時

名称	キャンパス	実施日
学内企業説明会	神田	6/1(水)、15(水)
	生田	6/29(水)～7/1(金)
	サテライト	7/19(火)、8/5(金)
就職パワーアップ講座	神田	第2回 公務員志望者対象 6/7(火) 自己PR・志望動機編 6/9(木) 模擬面接編
		第3回 民間企業志望者対象 6/18(土) 自己PR・志望動機・模擬面接編
		第1回 民間企業・公務員志望者共通 6/25(土) 自己PR・志望動機・模擬面接編 第2回 民間企業・公務員志望者共通 7/9(土) 自己PR・志望動機・模擬面接編

※ 詳細は、ポータルサイト、「S-net」でお知らせします。

専大とともに 神田神保町探索



神保町シアター

「映画は大人のワンダーランド」と語る細谷支配人は専大OB
古書店の印象が強い神田神保町だが、戦前は、映画館や寄席が多数存在する「芝居小屋の街」でもあった。当時の活気を取り戻そうと2007年にオープンしたのが、神保町シアター。全99席のミニシアターだ。卵の殻が割れるさまをイメージしたモダンな外装が目印。ビルには吉本興業の劇場「神保町花月」も入っている。当初は新作中心の上映だったが、並行して展開していた旧作特集が好評。今では同館の「顔」になっている。映画全盛期の昭和20～30年代の作品が主力。「巨力対決 田宮二郎VS天地 茂」一女優とモルド 美の競

お笑いあり名作あり… 映画全盛期の特集が人気

「映画が『本の街』に合うかどうかかも考えますよ」と細谷隆広支配人。書店など近隣の店と連動した企画も打ち出す。第3回 ちよだ文学賞大賞を受賞し、神田神保町が舞台の『森崎書店の日々』は昨秋、同館で初公開。今年4月には、専修大学創立者物語である『学校をつくらう』をモーション上映した。細谷さんは1979年商学部卒の専大OB。映画研究会に所属、鈴木清順や黒澤明作品にのめりこんだ。

「生田かかわりに『喜八プロ』(喜八は「独立愚連隊」「肉弾」の岡本喜八監督)がありました。向ヶ丘遊園駅前には名画座『登戸銀映』があって、よく通ったなあ。あのころ、学生の娯楽は映画でした」と懐かしむ。今、若い世代の映画離れが著しい。「映画は大人のワンダーランドですよ。専大のみなさん、劇場にもっと足を運んで」。



卵の殻が割れるさまをイメージした外装
△東京都千代田区神田神保町1-23 神保町シアタービルB1 ☎03・5281・5132